

2019年度 都立府中東高校 BOXING部

2019.11.3 東京朝鮮高校、朝鮮大学合同練習



度々伺っている東京朝鮮高校に朝鮮大学の学生、在日朝鮮人の朝鮮大学以外の大学生ボクサー、在日朝鮮高校卒のプロボクサーが集まり、その合同練習に参加させていただきました。

全体でアップをし、各自2分3Rのスパー、その後は全体でマスボクシング、ミットなどの合同練習を行いました。在日朝鮮の参加選手の中には関東大学ボクシングリーグ戦のバンタム級で階級賞を受賞した韓選手や、同リ-



山中



萩原



堀江



吉野

グ戦で活躍する選手、プロで活躍する選手もあり、とても参考になる一日となりました。

ほんの少し残念だったところはマスボクシングやミットなどの合同練習の時に、本校部員がそれらの選手のところに積極的にお願いに行かなかったところ。顧問から大学生にお願いをして手を合わせてもらったり、ミットをお願いに行くように指示したりしました。顧問の指示がなくとも、レベルの高い選手のところに積極的に練習をお願いに行かない様ではまだまだ練習に対する意識が足りないといえます。



末舛



芦川



星野



関東大学
リーグ戦
階級賞の
韓選手



スパーでは各自よくなっている部分が徐々に始まりました。全員に共通する課題の一つはオフェンス力。ボクシングはパンチをもらわないことも大事ですが、やはりまずは前に出て攻めることができること。これが大事となります。大学リーグで活躍する選手がうまく打たせてくれているところはあるのですが、フェイントを織り交ぜながら手を出し、徐々に前に出るところが見られるようになってきました。相手の出方を待って受けになり、反撃に頼ったり下がったりするボクシングではなく、各自のスタイルに合わせて先手を取り、攻めながらカウンターや反撃につなげるボクシングをすることが全員共通の課題の一つ。

この日に翌週9日(土)にも朝鮮大学校で合同練習、スパーを行うため一緒に、とお誘いいただきました。また10日(日)には神奈川県浅野高校に遠征、神奈川県の高校が集まる合同練習に参加する予定です。それらの対外活動の時には全員が今以上に攻めることができるように取り組み、新人戦に備えます。

**東京朝鮮高級学校の金先生、朝鮮大学校の任コーチ
在日朝鮮の選手のみなさん、ありがとうございました！**